

抗ウイルス製品について

／暮らしを守る抗ウイルス製品

抗菌仕様の製品は家具だけにとどまらず、私たちの日常の中で至る所に存在します。弊社では「抗菌」から、さらに一步進んで「抗ウイルス」にまで広げて、お客様に新しい価値をお届けし「清潔」で「安全」な製品によって、さらに「安心」して過ごせる生活空間の手助けをご提供いたします。

／細菌からウイルスまで

昨今の清潔志向ブームや O-157、サルモネラなどの食中毒事故などで抗菌仕様の製品が多くあふれています。従来の抗菌が対応する出血性大腸菌 O-157、サルモネラ菌などの細菌だけでなく、ノロウイルスやインフルエンザウイルスなど、さらに小さいウイルスまで効果を発揮する「抗ウイルス」製品は間違いなく、これからのニーズにあった製品であると言えます。



／感染経路の遮断

ウイルスや病原菌の感染は空気感染だけじゃない！ 触るところも除菌しないとダメなんです。「抗ウイルス」は空気中や飛沫に含まれるウイルスや菌が板面に接触したり、保菌状態で身体についた菌たちが板面に触れて抗ウイルスは効果を発揮していきます。こうした日常生活での感染経路を減らすことが、健康被害の防止に繋がります、安心して日常生活を送るその手助けをするのが「抗ウイルス」製品の最大の価値です。



／抗ウイルスや抗菌って、そもそもなんなの？

抗菌や抗ウイルスの『抗』に対する定義と類語について

滅菌：害の有無に関わらず対象物に存在する全てのウイルス・微生物を死滅または除去すること。
(現実的に100%無菌状態を確立することは不可能、対象物に存在する確率を1/100以下にすること。)

殺菌：有害な微生物やウイルス・細菌を殺すこと。

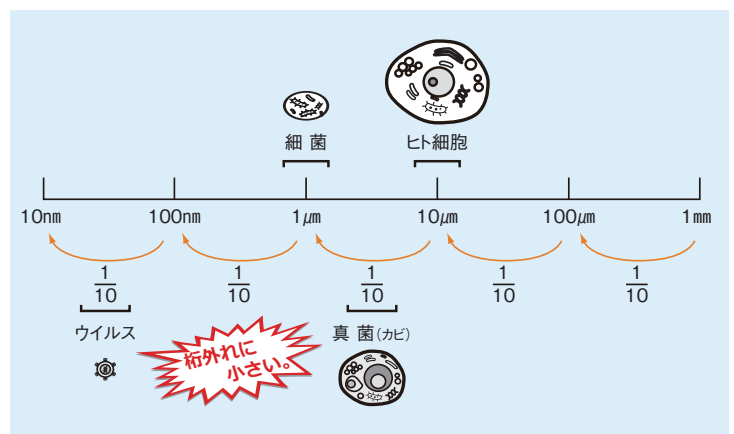
除菌：対象物から微生物を除去すること。(効果の程度は決まっていない。)

抗菌：殺菌・滅菌・消毒・静菌・除菌など対象物に対して何らかの効果を得られること。(程度は決まっていない。)

／細菌とウイルスって、何が違うの？

抗菌仕様ではウイルスに対処できない可能性が高い。それは細菌とウイルスの大きさに問題があるためです。

	細菌	ウイルス
	 細胞	 核酸とそれを覆う膜
サイズ	1~30 μ m (100万分の1)	40~45nm (0.040~0.045 μ m) (1億分の1)
単位	ミクロン (μ m)	ナノメートル (nm)
増殖	自己増殖	他生物に寄生して増殖
病原体例	大腸菌(O-157)、ブドウ球菌	ノロウイルス、インフルエンザウイルス
感染症例	感染性胃腸炎、出血性腸炎 等	感染性胃腸炎、流行性感冒 等



これだけサイズに差があるため、従来の「抗菌」では「ウイルス」に対抗できなかったといえます。

■主な特徴

現在、清潔志向や O-157、サルモネラの食中毒事故など、抗菌仕様を謳う商品が一般的になりつつあります。

そんな中で細菌だけでなく、さらに微細なウイルスにまで対抗する「抗ウイルステーブル」はインフルエンザウイルスやノロウイルスなどにも効果を発揮できます。

会議や打ち合わせの場だけでなく、人が集まる食堂のテーブル等にも広くお使いいただくことができます。

普段の生活の中から健康被害を考える商品は、皆様のこれからのを支える必要不可欠な商品といえます。